

難関大・医学部に
現役合格するために

駿台のハイレベルな環境で身についた 最難関大学が求める「本質を掴む力」

すべての学問には基礎があり、その基礎は幼少期からのためまぬ努力の積み重ねで固められ、やがて盤石なものとなります。大学入試もまた同じで、難関大・医学部に合格するだけの学力を身につけるには、中学・高校時代からの学習の積み重ねが重要。まさに、「ローマは一日にして成らず」です。そこで、駿台中学部・高校部の高校受験コース卒業生2名・大学受験コース卒業生2名の4人のOB・OGが集まってもらい、中高時代に駿台でどんな学びを体験したのかを語ってもらいました。中学生の皆さんには、きっと今後の参考になるでしょう。

駿台を選んだのは、競い合える
ハイレベルな仲間がいるから

「皆さんが駿台に入塾したきっかけを教えてください。」

高橋 小6対象のスタートダッシュプログラムに参加したことです。中



千葉大学医学部5年
(豊島岡女子学園高等学校出身)
高橋 陽香さん



東京大学法学部3年
(東京学芸大学附属高等学校出身)
福嶋 海さん

学生になる前に、毎日勉強する習慣を早くにつけさせたいと考えた母に勧められました。学校の成績は良かったのですが、入塾テストでは文章問題がまったく解けず、やはり学校の勉強だけでは足りないと感じました。

菅野 中学時代は新体操部の活動が週5〜6日あったので、中学生から塾に通ったほうが良いと思い入塾しました。駿台はレベルの高い生徒が集まっていると聞いたので、自分もより発展的な学習ができると考えて選びました。また、週1回から通えるのも決め手になりました。

吉田 私は大学受験を目指して入塾しました。理系志望だったので、「理系に強い」というイメージから選びました。少人数クラスで先生がとても親身に指導してくれて、分かるまで質問にも対応してくれました。

福嶋 友人の多くが駿台に通っていて、アットホームな雰囲気です。楽しく授業を受けていると聞き、入塾を決めました。自分で国語の対策ができ

ていないと思ったので、最初は国語をメインにお世話になることにしました。

「駿台に入って良かった」と感じたのはどういう点ですか。

高橋 トップレベルの生徒たちと切磋琢磨できたことです。私のクラスには全国上位の生徒が何人もいて、公立中学では知り合えないような人たちがばかり。とても刺激を受けました。また、駿台のテキストは本当に良くできていたので、それに取り組みだけで彼らと肩を並べられるくらい成績が伸びました。例えば数学では、授業で先生に教わった解き方、発想の仕方を頭の中で完璧に再生できるように勉強を続けたところ、難しい問題も次第に解けるようになりました。

菅野 私も周りの生徒に刺激を受けました。最初は比較的のんびり勉強していたのですが、小テストの結果が廊下に張り出されるようになってから、「負けていられない」と必死に勉強するようになりました。

吉田 私は先生や進路アドバイザーの皆さんにきちんと向き合ってもらえたことが嬉しかったです。面談のとき、自分では気づかなかった弱点を指摘してくれるなど、とても頼りになりました。普段からしっかりと見ていくれる先生方のためにも勉強をがんばろうと思えました。

意外に楽しかった!?
塾と学校生活の両立

「駿台にはなぜ、ハイレベルな生徒が集まるのだと思いますか。」

高橋 ハイレベルな生徒が集まるのではなく、駿台に入った生徒がハイレベルになるのだと思います。

福嶋 まず、先生の授業の進め方がとても面白かったこと。解法を丸暗記させるのではなく、その科目の面白さを伝えながら、原理・原則をしっかり教えてくれたところが、とてもわかりやすかったです。また、良いライバルが周りにたくさんいたので、受験を終えるまでモチベーションをキープできました。

吉田 私は先生や進路アドバイザーの皆さんにきちんと向き合ってもらえたことが嬉しかったです。面談のとき、自分では気づかなかった弱点を指摘してくれるなど、とても頼りになりました。普段からしっかりと見ていくれる先生方のためにも勉強をがんばろうと思えました。

菅野 塾と学校生活の両立は、大変なところだと思います。でも、塾で勉強していると、学校の授業がとてもしんどいと感じることがあります。でも、塾で勉強していると、学校の授業がとてもしんどいと感じることがありません。むしろ、学校の授業がとてもしんどいと感じることがありません。

高橋 勉強は日々の積み重ねが大切だと思います。でも、塾で勉強していると、学校の授業がとてもしんどいと感じることがありません。むしろ、学校の授業がとてもしんどいと感じることがありません。

吉田 面談で、「キミは勉強のセンスがあるけれど、努力が足りずにみ



東京大学理科一類1年
(國學院大学久我山高等学校出身)
吉田 つばささん



横浜市立大学医学部1年
(湘南白百合学園高等学校出身)
菅野 珠希さん

ではテキストに沿ってしっかりと勉強すれば良かったので、両立は楽でした。特に力を入れていたのが小テスト対策で、毎回100点が取れるよう努力しました。その積み重ねで、いつの間にか実力が身につけていました。

菅野 私も部活が忙しかったので、しっかりと計画を立てて勉強しました。部活で疲れて寝てしまう日もありましたが、翌朝早起きして前日分を取り返しました。

吉田 部活はやっていませんでしたが、勉強面で厳しい学校だったので、定期テストの期間中は塾に行くかどうか迷いました。でも私は塾が好きだったので、テスト期間中も通っていましたね。学校のテストは隙間時間を有効に使って対策しました。

福嶋 常にメリハリを意識していました。塾に行くまでは友達と楽しく遊んでいても、駿台の校舎に一步

入った瞬間にスイッチを切り替え、勉強に集中しました。駿台は授業を1回休むとその後のリカバリーが大変なので、学校のテスト期間中も休まず塾に通いました。

「進路はどのように決めましたか。」

高橋 幼い頃から医師になりたかったのですが、化学も大好きで、医学部が理化学部かで悩みました。ただ、最初から理化学部志望だと途中で医学部に切り替えるのが難しいので、まずは医学部を目指し、そのなかで偶然、医学生と知り合う機会があり、気持ちが変わりました。自分の得意科目や、センター試験(現共通テスト)と二次試験のバランスをもとに、千葉大学を選びました。

菅野 小学生の頃から医学部志望でした。生まれも育ちも神奈川県なので、県内で医学部のある横浜市立大を志望しました。

吉田 志望大学を決めたのは高3の春です。塾の先生との面談で迷っていた自分の背中を押していただき、可能性があるなら東大に挑戦してみようと思えました。理科一類を選んだのは、物質の組成に興味があり、工学部マテリアル工学科に進みたいと考えたからです。

福嶋 親族の東大出身者から、「日本中から優秀な人が集まる大学だ」と聞いてから、ずっと東大志望でした。高校受験前に、自分の中で勉強をする理由が明確にあったのが良かったのだと思います。

中学生生活はメリハリが重要
勉強にも遊びにも全力で

「駿台での思い出を教えてください」

駿台 SUNDAI
中学部 高校部

中学生から駿台
東大・京大・医学部へ
中高一貫校に通う中学生対象

早期入学特典あり

2023年度
大学受験コース
4/10日開講!

難問にチャレンジ

図で∠xを求めなさい。
※難問です。30分以内に解けたらすばらしい!

解答はこちら▶▶

新中学1年生対象 中学準備講座
2/5回より順次開講
各校舎で開催中!
同日、保護者様対象に説明も行います。
ぜひお子様と一緒にご参加ください。

開成・日比谷・早慶・国立大附属へ
高校受験をするキミは……

2023年度 高校受験コース
3/4日開講!

入学説明会開催中!

駿台中学部 月~土 13:30~20:30
0120-59-2612

大学受験コース ●お茶の水校 ●池袋校 ●渋谷校 ●豊洲校 ●自由が丘校
●吉祥寺校 ●横浜校 ●津田沼校 ●千葉校

高校受験コース ●お茶の水校 ●池袋校 ●渋谷校 ●西葛西校 ●自由が丘校
●吉祥寺校 ●津田沼校 ●千葉校



司会進行
駿台中学部
吉祥寺校 校舎長
堀口 一義さん